

## ☆☆☆朝礼講話☆☆☆

5月26日(月)

### 『ことばのキャッチボール』

講話 3年担任 服部 美咲



みなさんは、キャッチボールをしたことはありますか？体力テストでソフトボール投げがあったので、投げたことはありますね。上手に投げることができる人もいれば、あまり得意じゃない人もいます。ほとんどの人は、普段キャッチボールはしていないかと思っています。でも、実は毎日キャッチボールをしています。それは、『ことばのキャッチボール』、つまり会話です。言葉を話す（投げる）・聞く（捕る）ことは、家でも学校でも毎日行っています。

#### ことばのキャッチボール

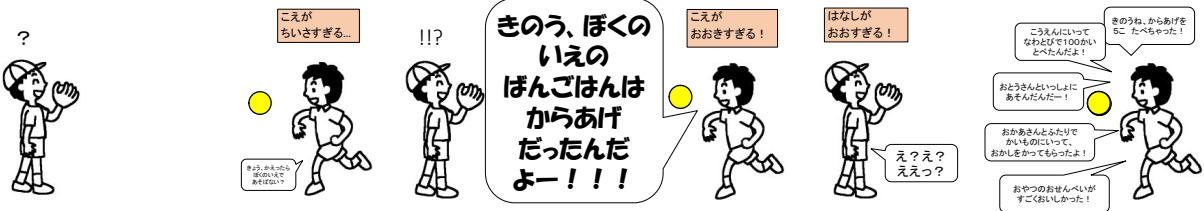


① はなす（なげる）ひとは…



キャッチボールも会話も一人ではできません。お互いの協力が必要です。

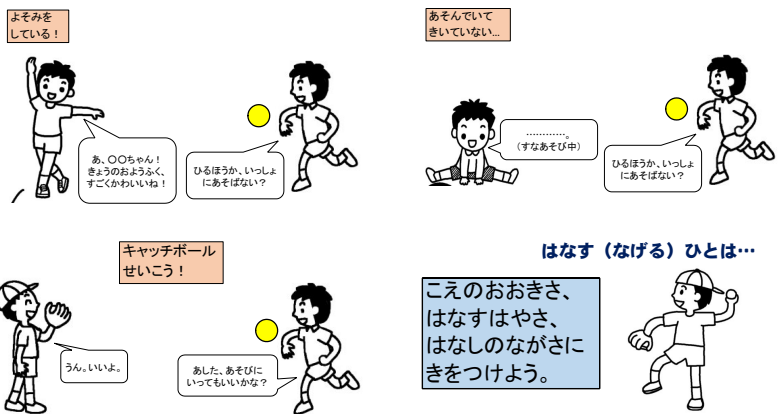
まず、投げる人。上手に投げないと相手に届きません。声が小さいと聞こえないし、大きすぎるとうるさくなってしまいます。また、あまり言葉が多すぎるとよくわからなくなって、キャッチできません。ちょうどいい声と話の量で言葉を伝えたいですね。



② きく（とる）ひとは…

いい姿勢で、しっかり相手を見て話を聞いていますか？うなずいたり、「うん」「そうなんだ」「なるほど」と返事をしたりして、うまく受け止めることができると、話した相手もうれしいですね。

次に、捕る（聞く）人です。実は、捕る（聞く）人もきちんとしないと捕る（聞く）ことができません。よそ見をしていたり、他のことをして遊んでいたりとしたら、捕れるわけがありません。



今、みなさんは私の言葉を上手にキャッチしていますか？

話す人と聞く人が協力して、上手に『ことばのキャッチボール』をしてください。